

団体名	一般社団法人まちのごえん		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 世代をつなぐ！心をつなぐ！総菜事業		
事業概要	孤立しがちな子育て世代、高齢世代を総菜調理、提供でつなぎ、多世代交流と心温まる食卓をつくる。		
事業費総額(確定)	366,439円	助成金確定額	89,000円
主な経費内容	総菜容器、消耗品、総菜食材費、水光熱費、広告掲載費(情報誌)		

●実施内容

■4月のプレ提供を皮切りに、11回の総菜提供を実施

(4月プレ提供、5月～3月11回提供、延べ174人が利用)

場所:古民家えんがわ

■1回の提供では前日の仕込みを含め5人～6人のスタッフが携わり、調理係、販売係、託児係に分かれ、子連れでも子連れでなくてもお互い協力しあいながら調理提供をした。

月に一度ミーティングを行い全員で集まり、前回の反省と次のメニュー決めをした後は、グループLINEにて細部を打ち合わせ、各家庭にて試作を繰り返し、一週間前にはSNSにて告知、前日まで予約を受け付けた。集まる日数を最小限に



し、できる人ができることを無理のない範囲で行ない助けあう空気感を大切にして、皆が楽しみながら活動をした。

また、利用者からは「ワンオペ

育児で子育てに追われる中で助かる」「自分では作らないものが食べられてうれしい」「愛情のこもった総菜が手軽な金額で手に入り助かっている」などの声をいただいた。



●事業の成果

20代から70代のスタッフが協力して作業を行うことで、子育て世代には孤立感の解消となり、高齢世代には若い世代や小さな子どもとの交流の場となった。高齢世代からの料理の伝承は若い世代の各家庭での調理意欲の増加につながり、また高齢世代にとっては、まだまだ現役で地域の活動に協力できる活力となっている。利用する側は、当初は若い子育て世代が多く「子育てや仕事で多忙の中で手作りの温かみのある食事ができて嬉しい」とリピーターが増えてきている。また、スタッフが作業に慣れ、安定的に提供ができるようになった9月からは、地域にチラシのポスティングを子どもとともに始めた。「古民家えんがわ」が、子ども食堂をする場所だけでなく、地域住民も気軽に足を運んでいただける場所としての印象づくりを進めている。その結果、徐々に地域の方の利用が増え、総菜を詰め合わせた弁当の提供を希望されたり、近所の知り合いを連れて共に利用に來られたりする姿が見え始めた。

●団体の活動目的・目標

この団体は、育児や貧困、高齢など様々な理由による孤立を防ぐために多世代が交流できる居場所「古民家えんがわ」を運営し、家庭生活の健全な発達に尽力し、誰ひとり取り残さないまちづくりを目的とし、その目的に資する事業を行う。